

神奈川県立元石川高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和8年度 元石川高等学校 第1回 学校運営協議会
開催日時	令和8年6月19日(金) 14時30分～16時30分
開催場所	元石川高等学校 会議室
出席者	《学校運営協議会委員》竹原和泉(会長)、辺見真智子(副会長)、郷原正、横田由美子、大島武、成田秀夫、小池秀岳、森由佳 《学校》大塚秀光、長妻令子、芝亜希子、萩原輝、吉田香月、飯田健太郎、坂本剛志、田淵朋子
会議資料	別紙参照
議事録	<p>1 校長挨拶 生徒・教職員にとって安心、安全な学校づくりを目指す 闇バイトへの注意喚起を全校放送にて実施</p> <p>2 出席者自己紹介</p> <p>3 会長、副会長選任</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 学校運営の基本方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元石川で育成したい生徒像を意識して欲しい旨を年度当初に職員へ周知済み →教員自身の「探究」、生徒一人ひとりに向き合い支えていくこと、が必要 ・自身、他者を思いやる心を育む ・授業力向上、授業活性化 <p>(2) 本年度の学校目標及びグループ協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育課程・学習指導 <ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領に則したカリキュラムの改訂(職員) ・多様な学習ニーズの枠組み整理(職員) ・出席簿の電子化(職員) ○生徒指導・支援 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒中心の学校行事(職員) ・学年を追うごとに部活加入率が減少に対する対策(職員) ・「自身・他者の命」を大切にす指導(職員) ・サポートブックや教育相談アンケートにより、生徒の様子を担当が把握した上での生徒全員との面談(職員) ・マナーについては、1年次のうちから身に付けさせて欲しい。入試、その先の社会に繋がる(委員) ○進路指導・支援 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度8割が大学進学(職員) ・総合型等の年内入試が増える中で、生徒が明確な意志を持って進路選択ができるよう、講演・模試・説明会を開催(職員) ・受験対策として、元石川進学講座を開講(職員) ○地域等との協働 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒個人が地域と関われるよう、AOBAキャラバン、たまプラハロウィン等への参加をし、生徒の自己有用感を育む(職員) →地域との繋がりを作ることで、社会参画を感じさせて欲しい。職員が架け橋となって欲しい。(委員) ・元石川の魅力の発信方法を考えていく。部活動、進路が注目されていると感じているため、キャリア支援・生徒活動グループとの連携を強め、高校入試倍率を上げていきたい(職員) →元石川としての特色をアピールしていく必要あり。アントレプレナーシップだけでなく、総合的な探究の時間を使って特色化していく。生徒の「好きなこと・得意なこと」を伸ばしていく。部活動等の課外の経験は社会で生きていく。職員全体で、どのような部分に焦点を当てていくか考えて欲しい(委員) ○学校管理・学校運営 <ul style="list-style-type: none"> ・防災計画、対策の実施(職員) ・PTAとの連携(職員) ・働き方改革(職員) ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・高校の役割とは(委員) ・中学→高校→社会 繋がりを活かせる教育を(委員) ・AIは右脳のみ、人間は左脳のカも持っている(委員) ・ゴミ箱設置が無い件については、保護者・生徒からお声を頂いている。今の生徒は理由を知らないのでは?(委員) ・塾に行っている生徒が多く、教室で自習をしている生徒があまりいない。勉強する環境(机や道具含め)が整うと自習しやすい可能性あり(職員) →今の職員でできることを全員で考え、実践していく。コミュニティスクールの仕組みを整理していく。 <p>5 連絡事項等</p>